

## 園芸施設 共済



大津市

うさファーム

みやざき よしふみ

**宮崎 佳文さん**(56歳)

【経営規模】

イチゴ15<sup>ル</sup>アイ(ハウス4棟)

水稲1・8<sup>ハル</sup>、ニンニク5<sup>ル</sup>アイ

パン用小麦35<sup>ル</sup>アイ

## 補償充実で安心

平成28年に就農し、イチゴ栽培用のパイプハウスを新設したときは、園芸施設共済に加入していました。

しかし、当時の制度では、年数が経るにつれ減少する時価額を補う特約がなく、3年目からは新価まで補償される民間の損保会社に切り替えました。

その後、掛金が大幅に上昇し悩んでいたところ、NOSAの担当者から制度改正の説明を聞いて、補償が充実したことを知り、再

び園芸施設共済に加入しました。

被害額50万円を超える大災害時に補償を限定することで、掛金も抑えることができ大変助かっています。

昨年には、市内の10軒の農家でグループを作り、集団加入による事務費の割引も受けています。

農業は自然相手の仕事なので、みんなが安心して取り組めるよう、まだ加入していない仲間にも声をかけています。